



**6**  
2013

**主題 (2012/2013)**

**国際会長** Be the light of the world Share your blessings in love  
「世を照らす光となろう」 「恵みを愛もて分かち合おう」

**アジア会長** Years bring wisdom Action vitalize life with strength  
「歳月はY'Sをワイズ(賢者)にする」 「行動が活力を呼び覚ます」

**西日本区理事** Let Y'smen Light Shine before Others In the club, in the community in the world  
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」

**中西部長** Let's nurture Y's dynamic spirit!  
「ワイズの活力を育てよう」

**大阪クラブ会長** Let's spread the Y's spirit  
「広げよう ワイズメンのこころ意気」

会長 北村 知三  
直前会長 牟 大盛  
副会長 清水 汎  
脇本 弘博  
森嶋 正利  
豊島 大盛  
書記 牟 大盛  
会計 尾和 信孝  
プリテン 松原 伸幸  
連絡主事 藤岡 宏樹

**【今月の聖句】**

「めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」  
ヒリピの信徒への手紙 2章4節

**【6月例会プログラム】(評価・計画月間)**

とき：2013年6月11日(火) 18:15~20:15  
ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

- 司会 清水 汎  
北村 知三会長
1. 開会の鐘
  2. クラブソング
  3. ゲスト・メネット紹介
  4. 会長報告
  5. 「日々の糧」 斉唱・晚餐
  6. スピーチ 五条孝次郎メン  
「オリーブオイル・ソムリエのお話」  
今期の評価と協議
  7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
  8. インフォメーション
  9. YMCAニュース
  10. 閉会の鐘 北村 知三会長

受付：牟・石橋・藤岡



於 5月特別例会

**【第2例会のご案内】**

とき：2013年6月18日(火) 19:00~  
ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月の誕生日：北村知三（０７）石橋ルキ（１５）

メネットさんお誕生日：窪田ナナ子（０７）

ご結婚記念日：能勢嘉則（２８）

## 【聖句に寄せて】

宇野 義男

人間は、その文字が示す通り、人と人との「間」で生きるものです。人と人との「間」がおかしくなると、人の心は暗くなり苛立ちを始めます。逆に人と人との間が良くなると人の心は明るくなり、互いの協力の中で、力強く生きることができます。

教会の中でも分裂を多く経験します。キリスト者の間に、さまざまな相違があり多様性のあることは、教会の健全な姿を示しています。しかし、自分の考えている通りに、人も考え行動すべきだと要求すべきではないと思います。ひとつの事柄に対しても多様な問題解決へのあり方は認め合うべきだと思います。乗り越え得ないこの問題は、お互いの相違を認め合わないところから起こることを、後で誰も反省はするんですが・・・。

## 【今期を振り返って】

会長 北村 知三

六甲での国内HHキャンプで軌道に乗った、聴覚障がい青少年育成支援事業を前年度から引き継いで、比較的目標が立て易いところから始めました。年度初めの香港での国際HHキャンプには、YMCA派遣団にHHOBOGグループとクラブのメンバーからも参加支援し、また香港の主催YMCAへのお祝い献金もしました。10月末にはHHキャンプOB OG会の自立と、クラブとのお互いのサポートを目指してHHリーダー会として設立、HHリーダー会の順調な進展を見ることが出来ました。HHOBOGグループは、例年どおりYMCAの行事である土佐堀カーニバルや、チャリティーラン、ボーリング大会に支援参加し、2月には、ワイズ中西部の特別行事である、東日本大震災復興支援チャリティーイベントのわいわいフェスティバルにも参加してくれました。また京都プリンスクラブの聴覚障がい青少年育成支援によるマイマイOB OGとの交流で、11月に同クラブの例会を訪問し、互いの支援キャンプへの参加を約束し支援活動の広がりとなりました。今年5月特別例会ではHHリーダー会の発足祝賀会として、メンバー相互の交流も深めました。

特別例会は、8月の祝会ではマンドリン演奏、12月の茨木クラブとの合同クリスマス例会ではクリスマスソングをソプラノでという楽しいものとなりました。毎月の例会はワイズメンのスピーカーが多かったが、充実した講話内容という意義がありました。ただ、パサディナクラブへの交換留学生派遣は、スケジュールの調整がうまくいかず、今年度の派遣は見送りとなりました。次年度となる今年は、パサディナからの派遣を受け入れる年として、8月には実現が期待されています。

新しく入会されたメンバーの方々は、第2例会や委員会に積極的に出席してワイズへの理解を深め、意欲的であることが楽しみとなっています。新連絡主事の藤岡さまも今後有力な活動を期待されています。

ここ数年の傾向ですが、各事業とも一部の人たちだけの活動に終わり、事業種類においてもかたよった傾向となっております。例会の進め方とともに、出来るだけ多くの方々が少しずつでも活動に参加すると言うことが、奉仕クラブとしての意義ある活動になると思います。その意味で何らかの形でのオリエンテーションが必要ということは、ここ数年の懸案です。

1年間能力不足の私にお付き合いいただいたメンバーの方々、かげながら遠く近くお支えいただいた方々に深くお礼を申し上げます。特にキャビネットの書記と会計のお二人にはひとかたならぬお世話になりました。またプリテンの内容は毎年西日本区でも高く評価されています。毎月の聖句にはいつも反省をさせられ、同時に励みもいただきました。

残念ながら1人の退会者はありましたが、これからもワイズメンズクラブの存在意義を深く読み取り、聴覚障がい者支援事業のこころいきを継続していくことは、クラブの特別な事業として大切なものとなっていることを実感するとともに、未来に希望をもてる一年となりました。

## 【5月出席状況】

5月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	16	14			4		87.5%	17,000円
	功労広義会員	2							
	合計	18	14			4			

5月例会の出席者

メネット：なし

ビジター：なし

ゲスト：HHリーダー会

西村智恵（会長）、高土雄輔（副会長）、勝矢千晶、桜木貴博さん

## 【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2013年5月21日(火) 19:00～21:00

場所：大阪土佐堀YMCA 601号室

出席者：北村会長・石橋次期会長・尾和周年例会実行委員長・松原・五条・能勢・牟メン

協議事項

1) 6月例会：6月11日：今期の「評価・計画」月間

司会：清水汎メン

スピーチ「オリーブオイル・ソムリエのお話」講師：五条孝次郎メン

準備物：プロジェクター、スクリーン（PCは五条メンが準備）

「今期の評価報告」：各事業委員長の今期の評価報告（今期を振り返っての評価）

食事：シンエイフードのお弁当

2) 7月新年度会長交代例会：（KICK-OFF、EMC-C月間）

7月9日（火）塚次期部長始め、キャビネットがクラブ公式訪問の予定。

3) HH支援事業の件

- 2013年HH国内キャンプ（8月9・10・11日）実施推進について

現在 大阪クラブから、北村・石橋・牟・條メンがキャンプ参加予定。

：5月29日 HH基金拡大委員会（クラブ会員・HHリーダー会）実施

キャンプ募集パンフレットと登録費の確定

4) 2013年11月の大阪クラブ85周年記念事業の件（兼、実行委員会）尾和実行委員長

- 「創立85周年記念例会」は、2013年11月2日（第1土曜日）午後2時から

土佐堀YMCA 903号室にて、11月例会として開催する。

- 創立例会の持ち方：題目「ワイズメンとYMCAとの絆」- YYの過去・現在・未来を語る

：コーディネーター（松原メン）の総合司会のもと、過去を（清水汎メン）、現在を（脇本博メン）、

未来を（末岡総主事）に発題していただき、パネルディスカッション方式ですすめる。

- 聴覚障がい（HH）支援基金の残高の積み増しのFUNDについては、北村会長より「HH基金への献金のお願い」をプリテンへの毎月掲載を進める。

：大阪クラブHH FUND事業新設について

五条孝次郎（オリーブソムリエ）から「オリーブFUND創立」の提案があり承認された。

- 2013年5月に国際大会（東京）で金賞を受賞した、チュニジア産オリーブオイルを詰め合わせセットとして（販売価格 @¥1万と@¥3,675 - の2種類）クラブFUNDとして販売する提案があった。

：今後大阪クラブの恒久的FUND事業として進める検討がなされた。

- 今後の広報について：尾和実行委員長が創立例会第一報の作成を区大会まで準備する。

まず、1000部作成する。

#### 5) その他：

次次期クラブ役員選任の件：次次期会長候補として、五条孝次郎メンを指名し、ご本人の承諾を頂いた。（6月例会で発表予定）

パサデナクラブ（IBC）ホームステイ受け入れの件

：継続して候補者を選択中。

西日本区大会参加者の件：北村知三・石橋ルキ・豊島正利・清水汎・清水佐智子・牟大盛の6名に加え、クラブの推薦で藤岡連絡主事を追加する。

宝塚クラブ創立25年記念例会の件

：5月25日記念例会に北村会長、石橋ルキ次期会長・清水汎ご夫婦の4名参加予定。

その他：6月1日（土）13：00からのYMCA大会に積極参加する。

DBC締結の方向性について：HH支援クラブとの今後のDBC締結も視野に入れて、今後の広がりを継続検討する。

北村会長から大阪クラブのバナー（旗）のレプリカ（縮小版）作成の提案があり、了承された。

- 6) プリテン編集の件：松原プリテン委員長から編集方針の発表があり承認された。

### 2013年5月 特別例会 収支報告

（開催日：2013年5月14日）

会計 尾和信孝

参加者合計 19名

#### (1) 入金

会費 ; @5,000円X14名 ￥70,000円

大阪クラブ 14名

HHリーダー会 5名

(入金計 : ￥70,000円)

#### (2) 支出

徐園への支払 ￥74,500円

(支出計 : ￥74,500円)

(3) 差し引き ￥4,500円

\* 皆様のご協力に感謝、4,500円は、一般会計より補てんします。

B F (報告・尾和会計)

新切手	清水汎メン	1,600円
リーストコイン	清水汎メン	208円

## 【5月例会報告】

藤岡 宏樹

5月例会

日時：2013年5月14日(火) 19:00～21:00

場所：肥後橋「徐園」

出席者：北村、牟、松原、清水、脇本、石橋、尾和、條、五条、村井、森嶋、能勢、末岡、藤岡メン  
(HHリーダー会)西村、高土、勝矢、桜木さん

今月の例会は、特別例会といたしまして、「HHリーダー会発足祝賀会」と位置づけて肥後橋「徐園」にて、宴会形式でおこなわれました。

松原メンの軽快な司会進行のおかげもあり、会は順調に進みました。

出席いただいた皆様より、この度のHHリーダー会発足の喜びの声をいただきました。

大阪ワイズメンズクラブが聴覚障がい青少年キャンプの支援に至った経緯や、当時の苦労話、楽しかった思い出などが語られ、先人の皆様の思いが伝えられました。

最後に、現HHリーダー会会長の西村さんより、長きに渡って支えていただいていること、キャンプでできた仲間により人生の視野が広がっていることなど、お礼の言葉が述べられ、HHキャンプ、そしてこのHHリーダー会を通して大阪ワイズメンズクラブの皆様と共に次世代のリーダーシップ育成につなげたいという言葉で締めくくられました。

## 【西宮クラブ創立65周年記念例会報告】

牟 大盛

2013年5月18日西宮クラブの創立65周年記念例会が、教会・YMCA会館・そして第3部の中華料理店と場所を3か所転々としながら開催いたしました。大阪クラブからは、一人限定参加ということで、私が参加となりました。

14時の一部は、日本福音ルーテル西宮教会で、市原正幸牧師の師式のもとで、聖書テサロニケの信徒への手紙一、第5章16節～22節、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。・・・」をもって、題目「いつも、いつも、いつも」で説教がありました。どんなに、苦しい時にも喜びと祈りを絶えさない時、神様は救いの道をご準備されるとの内容でした。説教のあと、長井慎吾会長により、「西宮ワイズメンズクラブ65年の歩み」と題しての、歴史の説明と写真紹介がありました。

1945年終戦直後に、クリスチャンの善積(よしずみ)英一氏は、失望の中の青年に希望を与えられるのは、YMCA設立しか無いとの確信のもと、御自宅を開放して、青年の親睦会「ポールスタークラブ」を設立し、同時に1948年に大阪クラブのスポンサーにより、「西宮ワイズメンズクラブ」を設立。一時は、YMCA会員100名(子供は240名)に増えましたが、1968年に一時休会、1976年に再度、神戸YMCA西宮ランチとして再出発し、1981年には現在の会館を設立。また、西宮クラブも山口政雄初代会長から始まり、苦しいながらもなんとかクラブ運営に努めた結果、1988年の宝塚クラブ、1993年には三田クラブをチャーターするに至りました。どんなに苦しい時でも、「この難局を救うのは、ワイズメンズクラブしかない。との一念で現在があります。」との長井会長の重ねてのご紹介に納得でした。

二部は、近くの西宮YMCA会館に場所を変えての、記念感謝例会と茶話会です。水野雄二神戸YMCA総主事もここで8年ほどの勤務経験があり、大変懐かしがっておられました。また、乾杯では、僭越ながらスポンサークラブ代表ということで、小生が西宮クラブとYMCAのご発展を祈願しまして、音頭の発声をと

らせていただきました。

また、この場所で今年11月2日(土)14時から土佐堀Y M C Aで予定しています、大阪クラブの85周年記念例会(シンポジウム形式)の広報アピールもさせていただきました。勿論、Y M C Aから正式に認定されたH Hリーダー会の発足の報告もいたしました。

さて、第3部は西宮の上海料理店にて皆さん、ネクタイを外して、メネットも合流されての食事と懇親会を、美味しい料理とおいしいワイズダムの話で盛り上がりました。

遠くは、広島クラブ・近江八幡クラブのD B Cクラブからも駆けつけた総勢60名ほどのメン・メネットでした。

このたびの記念例会に参加させていただき、我が大阪クラブもH H支援を軸にしたD B Cクラブを持ちたくなりました。

## 【宝塚クラブ創立25周年記念例会参加の記】

石橋 ルキ

表記の記念例会は2013年5月25日午前11時より、宝塚ホテルにて開催された。

出席者は清水汎、佐智子夫妻、北村知三、石橋ルキであった。全体で192名の参加であった。

第一部の記念礼拝の中で、辻健牧師のメッセージがあり、ご自身も宝塚教会の牧師であったが、宝塚クラブ創立の時のチャーターメンバーのひとりであり、4年前周防大島教会に転出されたが、宝塚クラブ時代には二つの忘れられない思い出がある。

一つは、'95年1月17日の淡路神戸大震災である。メンバー一同で食器を集め、献品したり、後には仮設住宅を訪問したりして支援した。

二つ目はY M C Aとの関わりで、ワイズ設立の後であるが、神戸Y M C Aのランチが逆瀬川に誕生した。10年後に事業不振のため廃止することになったが、なんとかY M C A活動を続けて欲しいとの願いのため、800万円ほどの支援金を出資して継続することになるが、6年後に続けることは不可能都となり、宝塚Y M C Aはなくなった。これが二つ目のあまり良くない思い出である。

第二部はスペシャルオリンピックス日本の元理事長の細川佳代子さんのスピーチ「インクルージョン社会を目指して」があった。

包みこむ社会。障害者への理解を強める教育。障害者の就労支援の二つを柱とする、社会、国、地方行政への強い支援要求の活動を“勇気の翼インクルージョン”の名称で極めて具体的な運動を行っておられるお話であった。

発端は1905年の一般企業、国、長野県を巻き込んで開催した「スペシャルオリンピックス世界大会」であり、それから10年間の間に知的障害者への理解を日本の国が果たす、と訴える運動を今、盛んに行われておられるようだ。

鎌倉にある聖ミカエラ学院の牧師は「どんなに医学が発達しても、人間が生まれ続ける限りその2パーセントが知的障害のある子供として生まれてくる。これは周りにいる人たちに優しさとか、思いやりと言う人間の一番大切な心を教えるための神様の贈り物です」と語って、スペシャルオリンピックス日本委員会を立ち上げられた。これに深い感銘を受けて、スペシャルオリンピックス日本の規模を、命をかけて全国版に広められたのが細川佳代子さんである。

スペシャルオリンピックスは“ベストを尽くした人みんなに賞が与えられる”知的障害者に最大の励みを与えるスポーツイベントある。

第三部の懇親会のアトラクションはクラブメンバー石田由美子さんがフラダンスの指導者なので、宝塚名物フラダンスとなっているが、今回はお弟子さんの関西学院三田キャンパスフラチームと周防大島こどもフラチームが出演した。山口県周防大島はハワイ移民の多い島で、ハワイカウアイ島と姉妹島となっている、小学生、中学生とこどもながら立派なフラダンスを踊った。

全員合同で東北地震の応援歌「花は咲く」が踊られたが、参加者全員に大きな感銘を残しつつ立派なフィナーレとなった。

## 【2013年第3回聴覚障がい青少年支援基金拡大委員会議事録】 書記 牟 大盛

日時：2013年5月9日（火）午後7時00分～

場所：大阪YMCA会館5階506号室

出席者：(大阪クラブ)北村会長・石橋・條・五条・村井・牟メン

藤岡連絡主事（基金運営副委員長）

(HHリーダー会・通訳士)西村会長・高土副会長・伊田（通訳士）・桜木・吉田さん

協議事項：司会進行：藤岡連絡主事

1. 2013年8月9・10・11日（金 日）阿南海洋キャンプでのHH国内キャンプ準備の件

1) 案内文の準備事項について

・第1報作成の件

：プログラム内容と参加費などについて

5月29日の第4回HH拡大委員会まで、プログラムを確定する。

参加費：YMCAから15万円、大阪クラブからは前回の25万円を中心に協議する。

：阿南キャンプの総予約数40名、内学生キャンパーは25名とし、費用を積算し登録費を確定する。

：参考として、60人乗りの大型バスの往復貸切代金は15万円前後

：阿南キャンプ宿泊予約総数40名の場合、キャンパーは25名基準となり、阿南キャンプの二泊三日（6食）で@¥15千円、参加登録費を二万円以下を予定し精査する。

・大阪YMCA主催・大阪ワイズメンズクラブ共催確認の件

主催：公益財団法人 大阪YMCA

大阪YMCA聴覚障がい青少年国際キャンプリーダー会

共催：大阪ワイズメンズクラブ

後援：株式会社 アモール

2) 募集・広報時期の件（担当者等の再確認）

・広報開始時期について：原則として書面にて参加要綱を送付、募集する。

・募集開始と締め切り：募集人員に満ち次第締め切る。

：西村HH会長から、韓国の大学生3人、マレーシアの社会人2人の参加要請があるが、マレーシアからの参加は大学生までなので趣旨説明をする。

・募集対象：

聾支援学校など：大阪市立・生野・ダイセン・堺聾学校

HHリーダー会関係

西日本所在YMCA

その他：アモールと京都プリンスクラブの「マイマイ」のOBOG

- Y M C A H Pに5月27日までUPする。

## 2. H Hリーダー会と大阪Y M C A新会員制度について

大阪Y M C Aのボランティアグループの一つとして承認されたとの報告があった。

H Hリーダー会会員は、Y M C Aのネット会員として全員登録する運びとの報告。

## 3. その他

1) H Hリーダー会主催「手話講座について」: 継続して検討中とのこと。

2) 次回第4回H H拡大委員会の開催日時: 5月29日(水) 19:00から

## 【2013年第4回聴覚障がい青少年支援基金拡大委員会議事録】 書記 牟 大盛

日時: 2013年5月29日(水) 午後7時00分~

場所: 大阪Y M C A会館5階504号室

出席者:(大阪クラブ)北村会長・石橋次期会長・條・脇本・牟メン

藤岡連絡主事(基金運営副委員長)

(H Hリーダー会・通訳士)西村会長・万並(通訳士)・勝矢・吉田さん

協議事項: 司会進行: 藤岡連絡主事

### 1. 2013年8月9・10・11日(金 日)阿南海洋キャンプでのH H国内キャンプ準備の件

#### 1) 案内文の準備事項について

・キャンプ募集要項作成の件

プログラム内容と参加費などについて:

キャンパーと一般参加登録費を一律@18,000と決定した。

(ただし、Y M C A非登録者は、@¥2000を追加する。)

プログラムの確定

キャンプ募集人数: キャンパー(25人)、H Hリーダー(6)人(西村会長・高土副会長・

小山・勝矢・吉田さん) 手話通訳士(2)人、Y M C Aスタッフ(2)人、ワイズ等一般

(数名)人、合計40-45名(上限は一旦、40名であるが、5名程はゆとりを持てる)

行事内容について: プログラムどおりとする。

その他: リーダーの一泊事前研修を6月15-16日に実施し、プログラムなどの最終調節

をする。また、このリーダー会会員の参加費は大阪クラブが負担する。

参加費内訳: 補助金: 大阪Y M C A 15万円、大阪クラブ 25万円、西日本区Yサ・ユース

補助金 10万円を予定する。

キャンパー登録金

リーダーと一般参加者

その他

(参考)

主催: 公益財団法人 大阪Y M C A

大阪Y M C A聴覚障がい青少年国際キャンプリーダー会

共催: 大阪ワイズメンズクラブ

後援: 株式会社 アモール

#### 2) 募集・広報時期などの件

・広報開始時期について:

・募集開始と締め切り: 募集人員に満ち次第締め切る。



・募集対象：

聾支援学校など：大阪市立・生野・ダイセン・堺聾学校

HHリーダー会関係

西日本所在YMCA

その他：アモールと京都プリンスクラブの「マイマイ」のOBOG他

## 2. その他

1) 次回第5回HH拡大委員会の開催日時：2013年6月26日(水) 19:00

土佐堀YMCA 504号室

2) 北村会長と石橋次期会長の提案で、6月22日に名古屋で開催される西日本区大会にて、大阪クラブのHHファンドとして、オリーブオイルの展示販売ブースを検討するとの報告があった。

## 【2013大阪YMCA記念礼拝と記念フォーラム参加報告】 北村 知三

6月1日(土)午後1時から大阪YMCA土佐堀館10階チャペルで、大阪YMCAの創立記念礼拝が行われました。日本聖公会の川口基督教会牧師の「現代における隣人愛」のお話がありました。献金タイムでは、東日本大震災への支援金として5万円余の献金がなされました。

その後、2時から「どう変える？どう変わる？ユースとグローバル社会」というテーマでグローバルユースフォーラムが行われ、西村会長により、HHリーダー会から高土裕輔さんと吉田亜衣さんが派遣参加しました。インドスタディーツアーとミャンマーワークキャンプに参加した3人の学生の体験報告のあと、8グループに分かれての「私たちに何が出来る？」というグループディスカッションが行われました。高土さんと吉田さんが熱心にそのグループ討議に加わりました。末岡総主事、藤岡連絡主事、そして終了まで通訳の伊田洋子さんが一緒に通訳参加してくださいました。

## 【YMCAニュース】

### 大阪YMCA早天祈祷会(第242回)

6月の祈祷会はいつもと趣が変わり、「証し」の部分が表現・コミュニケーション学科の朗読劇となります。これは昨年の世界YMCA/YWCA祈祷週で披露した朗読劇で、聴衆は涙、涙の感動をうけたものです。ぜひ、ご参加ください。

朗読劇 「走れメロス」「かわいそうな像」

日時：2013年6月21日(金) 7:30~8:30

祈祷会(礼拝) 7:30~8:00 朝食会(軽食) 8:00~8:30

場所：大阪YMCA会館 3階 302教室

会費：300円(軽食代)

### 大阪YMCA国際専門学校 ホストファミリー募集中!

大阪YMCA日本語学校における夏期集中コース参加者(台湾・香港・韓国など)のホームステイ受け入れ先を募集しています。

<受入日程>

7/14(日)~27(土)午前までの13泊

7/28(日)~8/10(土)午前までの13泊

7/14(日)~8/10(土)午前までの27泊

ホストファミリー申込は、6/14(金)までとなっております。

詳しいお問合せは、日本語学科(担当：川本、川上)までお願いいたします。( :06-6441-9068)

## I H S 卒業生ミクシ社長に！

ソーシャルメディア大手のミクシの新社長朝倉氏(30)は、I H S (大阪Y M C A 国際専門学校国際学科)の卒業生です。I H S 1 3 期生で卒業後東大に行きました。

### 【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 第16回西日本区大会・・・6月22日(土)～23日(日) 於：名古屋能楽堂  
参加希望者は、牟 大盛書記宛(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)ご連絡ください。

### 【大阪ワイズメンズクラブ85周年記念事業「聴覚障がい青少年育成基金への献金のお願い」】

85周年記念事業実行委員長 尾和信孝  
クラブ会長 北村知三

大阪ワイズメンズクラブは、社会奉仕活動の基幹事業として聴覚障がい青少年育成支援事業を、発展的に継続しております。今夏は国内HHキャンプを阿南で実施し、11月には創立85周年記念例会を開催いたしますが、この支援活動の更なる継続拡大のために、今年度100万円を目標として募金を行っております。

すでに、3,4人のメンバーから心のもった献金をいただき感謝しております。

みなさま、今年度85周年記念行事を行う意味を深くご理解いただき、何卒皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

募金金額	100万円
	一口1万円 3口以上お願いします
募集期間	2013年11月まで
振込先	三菱東京UFJ銀行 中之島支店
または 持参	普通預金口座 092-3826152
	口座名 大阪Y M C A 視聴覚障害青少年育成基金

### 【報告】

清水汎メンが、4月27日の中西部評議会において、次々期中西部部長に選出決定されました。

### 【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

### 【編集後記】

梅雨入りしました。暑くじめじめした季節の到来です。稲作には、梅雨が是非とも必要です。24節気では、6月6日ころを、芒種(ぼうしゅ)と言うそうです。イネ科植物の穂先の細い毛のような部分を、芒(のぎ)といい、芒のある穀物の種を蒔く時季ということです。昔の田植えは、単なる農作業ではなく、田の神様をおまつりする神事の意味合いが強かったと言われていました。また、稲の語源が、命の根という説もあるようです。命の根源を育てる梅雨に感謝しつつ、鬱陶しい季節を乗り切りましょう。編集委員として、一年間、不十分な貢献しかできなかったことを反省し、執筆、写真の提供、発送事務などに協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。今期の締めくくりとします。(編集委員：松原伸幸)